

自閉的傾向のある児童の社会性の発達と教育的支援に関する研究

東 條 吉 邦

(国立特殊教育総合研究所)

1. 研究の目的

自閉症教育に関するこれまでの研究や実践から、言語面や認知面の指導については、一定の成果が得られつつある。しかし、社会性の発達に関する指導については、未だ模索の段階にあり、社会性の基盤となる社会的認知能力の本質を解明する研究が必要とされている。平成 9～11 年度に実施された国立特殊教育総合研究所分室一般研究「自閉症児・学習障害児の社会性の発達に関する研究」の結果からも、自閉症やアスペルガー症候群等の自閉症スペクトラム障害の児童生徒に認められる社会性の発達の未熟さや歪みの問題に関しては、他者の欲求や行動の意図を察知する能力、いわゆる社会的認知能力の欠陥が、その基盤にある可能性が示されたが、この社会的認知能力の本質を追究し、教育的支援の望ましい方法について検討することが、今回の国立特殊教育総合研究所分室一般研究の目的である。

2. 研究経過および研究成果の概要

本研究「自閉的傾向のある児童の社会性の発達と教育的支援に関する研究」は、平成 12 年 4 月に開始され、平成 14 年度までの研究の経過と成果については、平成 12 年度一般研究報告書「自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究 第 4 巻」および平成 14 年度一般研究報告書「自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究 第 6 巻」を参照されたい。平成 15 年度は、英国で開発されたスクリーニング質問紙である ASQ と AQ の日本語版について、研究協力機関である学校法人武蔵野東学園の保護者の方々をはじめ、多くの方々にご協力をいただき、標準化のための研究を実施した。また、研究協力機関の協力を得て、社会的認知能力に関する客観的指標として、脳波の事象関連電位を測定し、自閉症児と健常な児童生徒の語音識別反応について検討するとともに、自閉症児における運動の模倣と身体意識能力や社会性との関係についても検討を実施した。研究の成果は、関係諸学会や学術雑誌等にて報告するとともに、本報告書『自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究 第 7 巻』にまとめた。

さらに、この一般研究の関連研究として実施してきた科学研究費補助金の基盤研究(B)(2)「自閉症児・ADHD 児における社会的障害の特徴と教育的支援に関する研究」(課題番号: 13410042、研究代表者: 東條吉邦、研究期間: 平成 13～15 年度)の研究成果報告書(平成 16 年 3 月刊行)においても、本研究の成果の一部を報告した。平成 15 年度の国立特殊教育総合研究所分室一般研究の研究成果の概要は、以下の通りである。

- (1) 英国で開発された自閉症に関する質問紙を翻訳し、研究協力機関等で、健常群、ADHD 群、自閉症・アスペルガー障害を含む広汎性発達障害群の 3 群のデータを中心に収集し分析した。この結果をもとに、自閉症のスクリーニング質問紙の日本語版を開発し、臨床的妥当性の検討や標準化へ向けての取り組みを実施した。

- (2) 生理心理学的側面および神経心理学的側面から自閉症における社会的障害の本質を探ることを目的として、自閉症児と健常児を対象に、人の音声、動き、視線などへの注意の向け方について課題への反応の特徴(反応時間、正答率、誤反応の傾向)の分析と脳波の計測等から検討した。その結果、(a) 語音識別課題遂行時の事象関連電位には自閉症児と健常児の間に差が認められること、(b)人の動きについては自閉症児も健常児も同様に知覚が可能であること、(c)視線については自閉症児も健常児も大半の子どもが反射的に視線の方向に注意を向けることが可能であること、(d)しかし自閉症児では、自分を見ている目に対する情報処理が健常児とは異なる(感受性が低い)といった特徴があることなどが見出された。また、運動模倣能力についても、心理学的側面から検討し、質的な相違があることを明らかにした。
- (3) 研究協力者・専門家・教員だけでなく、保護者や成人当事者（高機能自閉症、アスペルガー症候群の本人）の協力を得て、高機能自閉症・アスペルガー症候群の子どもたちの理解と適切な対応についてまとめた。

3. 研究組織

国立特殊教育総合研究所分室一般研究の研究協力機関、研究協力者、研究分担者、研究資料提供者は以下に示す通りである。

(1) 研究協力機関

学校法人 武蔵野東学園 武蔵野東小学校

(2) 研究協力者 (五十音順)

紺野 道子	白百合女子大学 研究助手
大六 一志	武蔵野大学 助教授
計野浩一郎	学校法人 武蔵野東学園武蔵野東教育研究所 主幹
谷口 清	東京慈恵会医科大学 教授

(3) 研究分担者 (五十音順、◎本報告書編集責任者)

是枝喜代治	国立特殊教育総合研究所 情緒障害教育研究部主任研究官
◎東條 吉邦	国立特殊教育総合研究所 分室長
廣瀬由美子	国立特殊教育総合研究所 分室主任研究官

(4) 研究資料提供者 (五十音順)

井伊 智子	お茶の水女子大学
市川 宏伸	東京都立梅ヶ丘病院
落合みどり	ペンギンくらぶ
國平 揺	東京大学

千住 淳	東京大学
長谷川寿一	東京大学
林 恵津子	加賀福祉園（平成13年度国立特殊教育総合研究所 分室客員研究員）
若林 明雄	千葉大学

4. この一般研究に関連する研究発表・報告等

東條吉邦（2001）自閉症児におけるラテラルティ，不器用さ，社会性の関係について．日本心理学会第65回大会．平成13年11月．

東條吉邦（2002）高機能自閉症・アスペルガー症候群への特別支援教育に関する試論：脳の機能としての接近－回避判断の特異性の視点から教育的支援の在り方を考える．国立特殊教育総合研究所研究紀要，29，167-176．平成14年2月．

東條吉邦（2002）自閉スペクトラムの児童生徒への特別支援教育－高機能自閉症及びアスペルガー症候群を中心に－．自閉症スペクトラム研究，1，25-36．平成14年3月．

千住 淳・東條吉邦・紺野道子・大六一志・長谷川寿一（2002）自閉症児におけるまなざしからの心の読み取り－心の理論と言語能力・一般的知能・障害程度との関連－．心理学研究，73，64-70．平成14年4月．

谷口 清・東條吉邦・篠田晴男（2002）学齢期自閉症児の言語音識別と注意：事象関連電位P300を指標として．日本生理心理学会第20回大会．平成14年5月．

東條吉邦（2002）自閉症スペクトラム研究の課題と動向．日本自閉症スペクトラム学会第1回研究大会．平成14年10月．

是枝喜代治・東條吉邦・廣瀬由美子・井伊智子・田中健太郎・計野浩一郎・大久保道子（2002）自閉症児の直立姿勢維持能力の特性．日本自閉症スペクトラム学会第1回研究大会．平成14年10月．

千住 淳・東條吉邦・長谷川寿一（2002）自閉症児の視線認知に関する実験心理学的検討．日本自閉症スペクトラム学会第1回研究大会．平成14年10月．

井伊智子・東條吉邦（2002）自閉症スペクトラムにおける恥の感情．日本自閉症スペクトラム学会第1回研究大会．平成14年10月．

落合みどり・東條吉邦（2003）ADHD児・高機能自閉症児における社会的困難性の特徴と教育．自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント，1-21．平成15年2月．

大六一志・千住 淳・林 恵津子・東條吉邦・市川宏伸（2003）自閉症スクリーニング質問紙(ASQ)日本語版の作成．自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント，33-38．平成15年2月．

井伊智子・林 恵津子・廣瀬由美子・東條吉邦（2003）高機能自閉症スペクトラム・スクリーニング質問紙(ASQ)について．自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント，39-45．平成15年2月．

東條吉邦（2003）自閉症の教育・研究・施策に関する最近の状況と課題．自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究，6，5-18．平成15年2月．

- 千住 淳・東條吉邦・谷口 清・大六一志・長谷川寿一 (2003) 自閉症児の視線検出機構の検討. 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究, 6, 19-26. 平成 15 年 2 月.
- 谷口 清・千住 淳・東條吉邦 (2003) 自閉症児の言語音識別と注意. 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究, 6, 27-34. 平成 15 年 2 月.
- 酒井彩子・是枝喜代治・東條吉邦 (2003) 高機能自閉症スペクトラム・スクリーニング質問紙(ASSQ)に関する検討. 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究, 6, 35-42. 平成 15 年 2 月.
- 是枝喜代治・東條吉邦 (2003) 小学校における自閉症児の運動支援の実際－協応性の向上に視点を当てる事例研究－. 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究, 6, 67-74. 平成 15 年 2 月.
- Senju,A., Tojo,Y., Yaguchi,K., & Hasegawa,T. (2003) Impaired mutual gaze processing in children with autism: An ERP study. *10th Annual Meeting of the Cognitive Neuroscience Society, NYC, USA*. 平成 15 年 3 月.
- Yaguchi,K., Tojo,Y., et al. (2003) The children with high function autism have normal MMN and P3a but low P3b amplitude. *The Social Brain, Goteborg, Sweden*. 平成 15 年 3 月.
- Senju,A., Tojo,Y., Yaguchi,K., Dairoku,H. Hasegawa,T. (2003) Eye gaze processing in children with autism. *The Social Brain, Goteborg, Sweden*. 平成 15 年 3 月.
- Senju, A., Yaguchi, K., Tojo, Y., & Hasegawa, T. (2003) Eye contact does not facilitate detection in children with autism. *Cognition (Elsevier Science Publishers)*, 89, B43-B51. 平成 15 年 7 月.
- 千住 淳・長谷川寿一・東條吉邦 (2004) 自閉症児のアイコンタクト検出機構の検討. 日本発達心理学会第 15 回大会. 平成 16 年 3 月.
- 國平 揺・千住 淳・長谷川寿一・東條吉邦 (2004) 自閉症児の模倣能力に関する検討. 日本発達心理学会第 15 回大会. 平成 16 年 3 月.
- Senju, A., Tojo, Y., Dairoku, H., & Hasegawa, T. (2004) Reflexive orienting in response to eye gaze and an arrow in children with and without autism. *Journal of Child Psychology and Psychiatry*, 45(3), 445-458. 平成 16 年 3 月.
- 若林明雄・東條吉邦・Baron-Cohen, S.・Wheelwright, S. (2004) 自閉症スペクトラム指数(AQ)検査(日本語版)の標準化. 心理学研究, 75 巻. (印刷中)